



これは、先輩たちから受け継がれている廊下の写真です。コンクリートの廊下も光っているけれども、この木造も日光により光っています。これも木のぬくもりの1つです。



これは、明倫の松の木です。この木には、深い歴史があって、「子供たちが、立派に育ってほしい」という深い願いもあります。



これは、明倫小学校の廊下をぞうきんがけしている所です。これは何気なくぞうきんがけしているだけでなく、ここをきれいにすることにつながるので、気持ちをこめてそうじをしています。



これは、萩の学校で明倫小学校しかないかわらの写真です。かわらがあるということから、この学校はすごい歴史があることがわかります。

明倫グループの思い

この一年間を振り返ると自分が強くなりました。今まで楽な事ばかりしていたけどこの総合は、楽ばかりしていても、何も始まらないということ教えてくれました。今年一年みんなと総合をしていても、充実した一年でした。

阿曾 沼

この一年間の総合でぼくは「感謝のころ」を見つけ出しました。この総合に協力してくださった方に、最後には、「ありがとうございました。」と自然といえるようになりました。感謝とは、言葉ではなく、自分のころだから、自分の素直なころでこれからも感謝という身近なことも大切にしていきたいと思います。

藤井

[戻る](#)

この一年間の総合で、ぼくは、ぬくもりを知る事ができました。明倫小学校を取材して不便だけど、あたたかく包んでくれました。萩にいと、ころがあつたかくなつてぼくを癒し大きく変えてくれました。この一年間の総合は、損などありませんでした。

星 出

この一年間総合を通して感じたことは、物のひとつひとつにはころや命があり、みんな生きてるんだと感じました。生きてるからぬくもりを感じたり立派に育っていくのです。目に見えない「生きる力」を、実際に活動をしたら深く深く感じれた一年間でした。

山野

[見て下さってありがとうございました。](#)